資料1

製造・物流等分野ロボット導入実証ワーキンググループ
平成29年度取組方針及びサブワーキンググループの設立について

2020年にロボットの国際的な競演会「World Robot Summit（WRS）」が愛知県国際展示場で開催され、ロボットの競技大会や展示会に参画する大学や企業等の関係者だけでなく、一般の方も含め、国内外から多くの方々の集客が見込まれる。

本イベントを機に、ロボットビジネスの拡大及び本県ロボット産業の集積の促進を図るため、ビジネスをコミットする県内企業が中心となり、サービスロボット等を開発、実証評価を行い、WRSにおいて社会実装の状況を世界へ発信することが望まれる。

そこで、本ワーキンググループでは、取り組むサービスロボットごとにチームを編成（サブワーキンググループを設立）し、社会実装に向けた具体的な取組を行う。

■ 社会実装の場　多くの来場者が見込まれる公共施設等

＜想定＞　愛知県庁、愛知県国際展示場、中部国際空港、空港駅、名古屋駅、イオンモール常滑　等

■ 開発するロボット　販売・普及を見越したユーザーニーズに則した設計・仕様である以下のロボット

＜想定＞
① 案内ロボット（移動型・非移動型）
② 移動支援ロボット（搭乗型）
③ 荷物運搬支援ロボット（ポーター）
④ 警備ロボット
⑤ 清掃ロボット
⑥ 作業支援ロボット　等

2017年度（平成29年度）	2018年度（平成30年度）	2019年度（平成31年度）	2020年度（平成32年度）
サブワーキンググループ設立（3～4SWG） ▷ メンバー編成（ビジネスをコミットする県内企業が中心） ▷ 企画/ロードマップの検討・作成	開発・実証評価 10月 プレ大会（東京ビッグサイト）		導入・調整 8月 WRS（福島） 実装・披露 10月 WRS（愛知）